

演劇・映画の
専門図書館

松竹大谷図書館ニュースレター

■ No. 256(2019年7月) ■

令和元年 7月 10日発行

»» お知らせ

■ 「中央区まちかど展示館」の季刊誌 vol.6 が発行されました

当館も参加している「中央区まちかど展示館」の季刊誌 vol.6 が発行されました。vol.6 は「銀座・京橋」編 Part.1 で、[まちかど展示館訪問] では、当館も見開きで紹介頂きました。そのほか、歌舞伎座ギャラリー回廊の特集や銀座・京橋エリア散策 MAP など、楽しい記事が満載です！当館や各展示館などで配布しておりますので、ぜひお手に取ってご覧ください。

「中央区まちかど展示館」のHP でも、閲覧及びダウンロードが出来ます。

↓季刊誌のダウンロードページはこちら

<https://chuoku-machikadotenjikan.jp/pdf/kikanshi06.pdf>



■ 中央区まちかど展示館「夏休みスタンプラリー」開催中！

当館に常設している「中央区まちかど展示館」のオリジナルスタンプですが、7月1日から専用のシートでエリア毎に決まった数のスタンプを計4個以上集めて応募すると、抽選で景品が当たる「夏休みスタンプラリー」が始まりました。各館のスタンプは、それぞれの展示館の特徴を活かしたとても素敵なデザインです。今回新たに認定された展示館も参加していますので、ぜひこの機に集めてみてください。

ラリーシートは各館で配布、また、まちかど展示館のWebページからもダウンロードができます。

https://chuoku-machikadotenjikan.jp/stamprally_summer2019.html



当館のスタンプは、カードボックスの前に映画『男はつらいよ』と歌舞伎『義経千本桜』の台本が描かれている、演劇と映画の専門図書館らしいデザインです。ぜひ押しに来て下さい！



【夏休み限定企画】中央区まちかど展示館『夏休みスタンプラリー』

2019年7/1(月)~8/30(金)

https://chuoku-machikadotenjikan.jp/stamprally_summer2019.html

※各館でそれぞれ夏休みや休館日がありますので、ご注意下さい。

■避難訓練レポート

報告者：酒井恵

災害はいつどこで起こるか分からない。6月19日、午前9時31分、松竹大谷図書館の入っているビル全体に「地下1階のゴミ庫で火災」との館内放送が繰り返し流れました。これは定期的に行われるビル全体の避難訓練で、今回当館からは武藤と酒井の2人が参加することに。「10階より下の階はB階段を使って下り、10階以上はA階段を使用して避難すること」という館内放送の指示のもと、ヘルメットをかぶって行動を開始しました。3階の私たちは少し離れた位置にあるB階段で1階へと向かいました。一旦、外に出てから1階の吹き抜けのスペースに行き、9時37分に避難完了を報告！そして、9時45分に今回訓練に参加した全員の避難が完了しました。ビルの管理センターの室長からの挨拶では「ヘルメットをかぶらずに持ち歩いている人が多かったことと、私語が多く2回流れた放送が聞こえない」というご指摘をいただきました。

訓練とは言っても、おりしも訓練前夜は、山形県沖を震源とするマグニチュード6.7の地震が起こったばかり。いつどこで、何が起こるか分からないんだ、と実感したばかりだったので、緊張感をもって訓練に臨まなければ、と改めて思いました。京橋消防署員の方からは、「まずは家具の転倒や落下防止の対策をしてほしい、そして首都直下地震が起こったら、このビルで数日残留しなければいけない事態を想定して準備をしてほしい」というお話がありました。当館でも、上の方に重い荷物は置かない、棚上のケースはテープで固定するなど、少しずつ対策はしていますが、突っ張り棒などはまだ出来ていないので、少しずつでも対策が出来たらいいな、と思うのと同時に、自宅に用意してある防災備品も改めて期限切れのものがないかなど、再チェックをしなくては！！と気持ちを新たにしました。

避難訓練後には、水を使用した消火器操作実習またはスモークハウスの体験を行いました。私たちはスモークハウス体験を選びました。スモークハウスは、無害な薬品を水で薄めて作り出した煙状の気体を充満させたテントの中を歩いて、出口を目指すものです。私たちが一番手だったので、目の前でさえもかなり見えづらいほど、煙が充満していました。タオルを口に当てて、進みましたが、少しタオルを口から外すと、一気にノドの奥に煙が入り込んできて、むせてしまいました。この一枚あるかないかの差だけで、こんなにもダメージを防いでくれるんだ、と体感。いつどこで起こるか分からない災害だからこそ、こうして様々な体験ができる訓練はとても有意義なものでした。



訓練スタート。ヘルメットをかぶり書庫の奥の非常口を目指します



スモークハウスの外観。一番手で入ります



スモークハウス内部を進みます。すぐ前にいる人の背中もなかなか見えません

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 6月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『寿式三番叟』	○		○	○
	『女車引』	○			
	『梶原平三誉石切』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
	『三谷かぶき 月光露針路日本 風雲児たち』	○			
新橋演舞場	『東京喜劇 翔べないスペースマンと危険なシナリオ』			○	○
	第3回春風亭小朝独演会 in 新橋演舞場			○	
三越劇場	『夜の蝶』			○	○
松竹座	『三婆』	○		○	○
南座	『新作歌舞伎 NARUTO』			○	○
博多座	第26回京都五花街合同公演『都の賑い』			○	○
	『祇園祭礼信仰記 金閣寺』	○			
	『保名』				
	『酔菩提悟道野晒 野晒悟助』	○			
	『八重桐廓嘶 嬬山姥』	○			
	『新古演劇十種の内 土蜘蛛』	○			
下関市民会館	坂東玉三郎下関特別公演			○	

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 (5-6月) ■ (順不同)

劇団扉座『新浄瑠璃 百鬼丸』座・高円寺1プログラム/劇団民藝『闇にさらわれて』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYA プログラム、台本/シーエイティプロデュース『BACKBEAT』東京芸術劇場プレイハウスプログラム/『ハムレット』シアターコクーンプログラム/劇団昴『Other People's Money 他人の金』Pit 昴プログラム、台本/『恐るべき子供たち』KAAT 神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/劇団四季『ジーザス・クライスト=スーパースター エルサレム・バージョン』自由劇場(四季)プログラム/アクトカンタービレ『GOLDEN LEMONADE』博品館劇場プログラム/あ・うん ぐるーぶ『永遠の愛 阿国山三』博品館劇場プログラム/イキウメ『獣の柱』シアタートラムプログラム/ラッパ屋『2.8次元』紀伊國屋ホールプログラム/演劇集団円×シアターX『インシュタインの休日』シアターXプログラム/神保町花月×ナカゴ『予言者たち』神保町花月プログラム/モダンスマーズ『ビューティフル ワールド』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/大人の麦茶『おもったことは、なかったです』下北沢ザ・スズナリプログラム/JACROW『ざくろのような』座・高円寺1プログラム/KAKUTA『らぶゆ』本多劇場プログラム/花組ヌーベル『実験浄瑠璃劇 毛皮のマリー』下北沢小劇場 B1 プログラム/serial number『機械と音楽』吉祥寺シアタープログラム/『出世景清 素浄瑠璃公演』紀尾井小ホールプログラム/SPIRAL MOON『夜のジオラマ』下北沢「劇」小劇場プログラム/流山児★事務所『新宿オペラ 由比正雪』Space 早稲田プログラム/動物電気『ブランデー!恋を語ろう』下北沢駅前劇場プログラム/『ピカソの女たちオリガ 愛に盲して』シアターXプログラム/劇団桃唄 309『アミとナミ』座・高円寺1プログラム/歌舞伎鑑賞教室『神霊矢口渡』国立劇場大劇場プログラム/文楽公演『妹背山婦女庭訓』国立劇場小劇場プログラム、床本/『坂本冬美特別公演 泉ピン子友情出演』明治座プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』Vol. 175/『KENSYO』Vol. 113/『TICKETS GO! GO!』Vol. 92/『あぜくら』2019年6月号/『ほうおう』2019年8月号/『テアトロ』2019年7月号/『ラ・アルプ』2019年7月号/『演劇映像』60号/『演劇界』2019年8月号/『喝采』2019年9月、10月/『芸劇 BUZZ』Vol. 28/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol. 15/『国立演芸場公演ガイド』令和元年7月号/『大向う』令和元年6月号、7月号/『伝統文化新聞』157号/『日本芸術文化振興会ニュース』2019年7月号/『日本劇作家協会会報 ト書き』62号/『日本照明家協会誌』2019年6月号/『日本舞踊』71巻7月号/『悲劇喜劇』2019年7月号/『邦楽の友』令和元年7月号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2019年8月号/『NFAJ プログラム』No. 13/『SCREEN』2019年8月号/『TVガイド』2019年6/7号、6/14号、6/21号、6/28号/『おとなのデジタルTVナビ』2019年8月号/『キネマ旬報』2019年7月上旬号、7月下旬号、増刊キネマ旬報 NEXT Vol. 25, Vol. 26/『シナリオ』2019年8月号/『シナリオ教室』2019年7月号/『ドラマ』2019年1月号-7月号/『ピクトアップ』2019年8月号/『ムービー・スター』2019年8月号/『映画テレビ技術』2019年7月号/『映画学』2018年32号/『映画時報』2019年7月号/『映画秘宝』2019年8月号/『日経エンタテインメント!』2019年7月号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ザ・ファブル』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『ハウス・ジャック・ビルト』『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジ LOVE キングダム』『ニューヨーク 最高の訳あり物件』『Diner ダイナー』『劇場版 Free! Road to the World 夢』『コンフィデンスマン JP』『プロメア』『ベン・イズ・バック』『空母いぶき』『長いお別れ』『さよならくちびる』『アベンジャーズ エンドゲーム』『ゴジラ キング・オブ・モンスターズ』『映画賭ケグルイ』『名探偵ピカチュウ』『ホワイト・クロウ 伝説のダンサー』『僕に、会いたかった』『オーヴァーロード』『レプリカズ』『コレット』『劇場版パタリロ!』『X-MEN: ダーク・フェニックス』『メン・イン・ブラック: インターナショナル』『アラジン』『ページ: エクスペリメント』『きみと、波にのれたら』『凧待ち』『ウィーアーリトルゾンビーズ』『今日も嫌がらせ弁当』『劇場版 ファイナルファンタジーXIV 光のお父さん』『海獣の子供』

»» 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■ (順不同)

『表象の京都 日本映画史における観光都市のイメージ』『私の愛した日本映画 四人の名匠<上巻>』『全集黒澤明 最終巻』『星由里子さんを偲ぶ会 二〇一八年九月十四日帝国ホテル光の間』『豆腐屋はオカラもつくる 映画監督 小津安二郎のこと』『早川雪洲 房総が生んだ国際俳優』『劇場版 幻想魔伝最遊記 Summer Illusion on the Movie』『戦争芝居と川上音二郎『壮絶快絶日清戦争』の分析をもとに』『ポスターでたどる戦前の新劇』『新生ふるきやら』『名残の花街 もう一つの花街を訪ねて 北関東編』『名残の花街 もう一つの花街を訪ねて 東京編』『舞踊年鑑 2018』『演劇年鑑 2019』『フジタの白鳥 画家藤田嗣治の舞台美術』『西郷どん 後編 NHK 大河ドラマ・ガイド』『藤沢市藤澤浮世絵館所蔵作品集』『観劇にやくだつ 舞台芸術「表」「裏」絵事典 小道具から舞台装置まで』

»»資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2019年4月-5月) ※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、株式会社日本舞踊社、有限会社合同通信社、銀座 博品館劇場、公益財団法人 北区文化振興財団、独立行政法人日本芸術文化振興会 (国立劇場)、明治座、邦楽の友社、東京都江戸東京博物館、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、おもだか会、博物館明治村、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、無声映画鑑賞会、北翔大学北方圏学術情報センターポルト、早稲田大学演劇博物館、キネマ旬報社、国立劇場、演劇出版社、株式会社セクターエイティエイト K E N S Y O編集部、野上記念法政大学能楽研究所、樽松大剛、アンドレ・バザン研究会、山口蓬春記念館、一般社団法人日本民間放送連盟、シアタークリエ、日本映画テレビプロデューサー協会、梅村三郎、御園座演劇図書館、弘川有晃、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、博多座、デアゴスティーニ・ジャパン、国立歴史民俗博物館、岩波ホール、公益社団法人日本照明家協会、若林さだ吉、劇団民藝、公益社団法人日本演劇協会、公益社団法人日本劇団協議会、人形劇団ブーク、国立映画アーカイブ、東宝株式会社映像事業部、シーエイティブロデュース、加藤健一事務所、(株)近代映画社、日本アカデミー賞協会、常磐津節保存会 会長 常磐津文字太夫、新歌舞伎座、有限会社劇団東演、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、A I C T (国際演劇評論家協会) 日本センター、株式会社俳優座劇場、おとなのデジタルTVナビ編集部、シナリオ・センター、銀座百店会、小田原市立図書館、帝国劇場、こまつ座、株式会社文学座、早稲田大学映画学研究会、早稲田大学演劇映像学会、立教大学映像身体学科学学生研究会、松竹ブロードキャスティング(株)、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、劇団青年座、公益財団法人日本近代文学館、株式会社マガジンハウス、三越劇場、公益社団法人 国際演劇協会、世田谷文学館、玉川大学教育博物館、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、K A A T 神奈川芸術劇場、一般財団法人映画倫理機構、鈴木三郎助、協同組合 日本映画撮影監督協会

どうもありがとうございました

»» 第77回所蔵資料展示 「没後50年 市川雷蔵」展

展示期間：2019年6月28日～8月15日/於 閲覧室

本年は、市川雷蔵の没後50年にあたります。昭和44[1969]年7月17日に37歳という若さで逝去した市川雷蔵は、歌舞伎界出身の映画俳優で、日本映画の黄金期に活躍した大映の看板スターです。映画俳優として活躍したのはわずか15年という短い期間でしたが、150本以上の映画に出演し、多くの観客を魅了しました。

昭和6[1931]年8月29日、京都に生まれた市川雷蔵は、生後数ヶ月で父の実姉の夫である歌舞伎俳優、三代目市川九團次の養子となり、昭和21[1946]年11月大阪歌舞伎座にて、三代目市川蕙蔵を名乗り初舞台を踏みます。やがて武智鉄二の主催する、若手俳優中心の「関西実験劇場」公演で研鑽を積んで注目を集め、昭和26[1951]年4月、関西歌舞伎の重鎮、三代目市川寿海との養子縁組が成立し、同年6月大阪歌舞伎座で八代目市川雷蔵を襲名しました。そして、3年後に雷蔵は映画俳優に転身、昭和29[1954]年に『花の白虎隊』でデビューします。その後、映画界で大きな成功を収める一方で、昭和35[1960]年8月には大阪新歌舞伎座にて「市川雷蔵初出演」と銘打って7年ぶりに舞台へ出演し、また、昭和39[1964]年1月には日生劇場にて、武智鉄二プロデュースの「寿大歌舞伎」で歌舞伎へ出演、『勲進帳』では富樫を、『一ノ谷物語-琴魂』では四郎敦盛を務めており、数少ないながらも、舞台にも出演しています。昭和43[1968]年には劇団「テアトロ鎗矢」を設立、旗揚げ公演に向け、映画撮影の合間を縫って自ら奔走していましたが、病に倒れ中止となり、翌年に逝去したため公演の実現は成りませんでした。

今回、没後50年という節目の年にちなみ、八代目市川雷蔵襲名時のプログラムなどの公演資料や、お馴染みの映画『眠狂四郎』シリーズのスチール写真など、演劇・映画両分野の専門図書館ならではの資料を展示します。

【展示資料一覧】

- 歌舞伎スチール写真『玉藻前 暁 袂』昭和28[1953]年8月新橋演舞場/『假名手本忠臣蔵』昭和28[1953]年11月帝国劇場
- プログラム[歌舞伎] 昭和26[1951]年6月大阪歌舞伎座「東西合同大歌舞伎」八代目市川雷蔵襲名時のプログラム
- プログラム[演劇] 昭和35[1960]年8月大阪新歌舞伎座「市川雷蔵初出演」7年ぶりに舞台に出演した時のプログラム
- 映画スチール写真(全て大映京都作品)
 - 『踊り子行状記』昭和30[1955]年/『弥太郎笠』昭和32[1957]年
 - 『桃太郎侍』昭和32[1957]年/『月姫系図』昭和33[1958]年
 - 『剣』昭和39[1964]年/『眠狂四郎炎情剣』昭和40[1965]年
 - 『忍びの者 伊賀屋敷』昭和40[1965]年/『剣鬼』昭和40[1965]年
 - 『新・鞍馬天狗 五條坂の決闘』昭和40[1965]年/『若親分喧嘩状』昭和41[1966]年
- 雑誌『大映』25号 昭和33[1958]年6月発行 大映本社宣伝部
- 雑誌『平凡』増刊「あなたの市川雷蔵」昭和34[1959]年1月発行 平凡出版
- 映画台本(全て大映京都作品)
 - 『炎上』昭和33[1958]年/『弁天小僧』昭和33[1958]年/『濡れ髪三度笠』昭和34[1959]年/『大菩薩峠』昭和35[1960]年
 - 『花くらべ狸道中』昭和36[1961]年/『沓掛時次郎』昭和36[1961]年
 - 『中山七里』昭和37[1962]年/『斬る』昭和37[1962]年
 - 『江戸八百七十里』昭和37[1962]年/『新選組始末記』昭和38[1963]年
 - 『手討』昭和38[1963]年/『眠狂四郎 勝負』昭和39[1964]年
 - 『赤い手裏剣』昭和40[1965]年/『陸軍中野学校』昭和41[1966]年
 - 『大殺陣 雄呂血』昭和41[1966]年/『眠狂四郎無頼控 魔性の肌』昭和42[1967]年
 - 『ひとり狼』昭和43[1968]年



市川雷蔵出演の映画台本。展示資料以外の台本も並べてみました。当館の資料検索でも、所蔵の有無を検索できます。資料検索はこちら↓ <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● **現在ご支援いただいている方々**（了承を得た方のみ掲載）2019(令和元)年6月にご支援いただきました法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

福田勝樹

どうもありがとうございます

■ **編集後記** ■

先月の編集後記で、当館所蔵の組上燈籠絵「菅原天神記車引組上ケ五枚続」(明治35[1902]年)の組上完成形(復刻版)を当館閲覧室内で、登場人物と吉田神社など背景の一部を展示したことをお知らせしましたが、今月は、国立劇場7月歌舞伎鑑賞教室での『菅原伝授手習鑑一車引一』上演を記念して、組上完成形(復刻版)の完全版を7月31日まで展示しております。

この5枚続きの組上燈籠絵には、たくさんの登場人物や建物や背景が描かれており、組上げると横幅90cmにもなる超大作です。当館が所蔵する組上燈籠絵の中でも最大級のもので、カードボックスの上部右半分をほぼ占拠しております。是非当館閲覧室にお立ち寄りください。

↓松竹大谷図書館開館日カレンダーはこちら

https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/pdf/2019_calendar.pdf

私も組上燈籠を作りたい!という方は、「菅原天神記車引組上ケ五枚続【復刻版】」(1,500円)も、当館閲覧室で絶賛発売中です!

「菅原天神記車引組上ケ五枚続」の画像や全てのパーツを組上げた完成形は【松竹大谷図書館所蔵「組上燈籠絵」検索閲覧システム】でご覧頂けます。[キーワード]に「菅原」と入力して検索してみてください。

↓松竹大谷図書館所蔵「組上燈籠絵」検索閲覧システムはこちら

http://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_shochiku.php



■ **夏期特別整理休館のお知らせ** ■
令和元年 8月16日(金)より8月29日(木)まで

資料整理のため休館いたします。
8月30日(金)より通常通り開館いたします。



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

● **利用案内** ●

【開館時間】平日午前10時～午後5時 / **【休館日】**土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / **【閲覧】**館内閲覧のみ / **【入館料】**無料 / **【コピーサービス】** A4 1枚 白黒 50円、カラー150円・B4 1枚 白黒 100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

● **資料検索** ●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

● **交通案内** ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分





松竹大谷図書館 休館作業風景

6月最終木曜日の整理休館日。閲覧室の広いテーブルを使用して作業しました。手前では、演劇のプログラムの整理作業中。奥のテーブルでは「没後50年 市川雷蔵」展の展示準備をしています。月に一度の最終木曜の休館は、スペースを使って作業できる、貴重な一日です。